

思い出を胸に、新しい一歩へ

匝瑳小学校閉校式典

匝瑳小学校で3月27日、同校閉校式典が行われ、児童、保護者、地域の関係者ら約160人が出席し、140年の歴史に幕を下ろしました。

式典では、児童代表として大木明莉さん(当時6年)があいさつ。「匝瑳小での思い出は尽きません。ここで学んだことを誇りに、真っ直ぐに強く、たくましく成長すると約束します」と述べ、あふれる思い出を胸に新たな決意を誓った後、鶴之沢正吉校長から太田市長へ校旗が返納されました。続けて、校庭に建てられた「感謝 匝瑳の絆未来へ」と刻まれた記念碑の除幕式が行われました。

式典終了後には「感謝の集い」が開かれ、卒業生らも参加。壁一面に張られた学校行事の写真やスライドショーなどを見ながら思い出を分かち合い、最後は出席者全員で校歌を歌い親しんだ学び舎に別れを告げました。



◀校旗を太田市長(左)へ返納する鶴之沢校長

▶感謝の集いで上映されたスライドショー。写真で思い出を振り返る



多くの来場者でにぎわう観光物産センター(2日)

観光・地域の交流の場として

「そうさ観光物産センター 匝瑳の里」がオープン

観光案内所「そうさ観光物産センター 匝瑳の里」が4月1日、JR八日市場駅前オープンしました。

この施設は、市内観光の拠点施設として整備され、NPO法人「匝瑳市観光物産協会」により運営されます。今後は、観光スポット案内や特産品などの販売を通じて、匝瑳市の魅力を発信していきます。

1日に行われた竣工式では、太田市長が「多くの皆さんの交流の場になることを願う。本市の産業を大いに盛り上げてほしい」とあいさつ。物産販売が始まった2、3の両日は、特価品や新鮮野菜などを買い求める来場者で、大いに賑わいました。

かわいい一日警察官

春の全国交通安全運動出動式

春の全国交通安全運動初日の4月6日、関係機関が集まって同運動の出動式が市役所前で開かれました。入園・入学シーズンを迎え、子どもたちの通園・通学が始まり、歩行者や自転車利用者の行動範囲が広がることから、交通安全を呼びかけるものです。

この日、八日市場小学校2年の石毛月渚さんと須合由奈さん、椎名ひなのさんが一日警察官に任命され、「交通事故を1件でも減らせるよう、頑張ります」と大きな声で交通安全宣言をしました。



交通安全宣言を行う3人

桜と神輿で春を迎える

葦茅神社祭礼



お囃子と一緒に葦茅神社を出発する神輿

中央地区八日市場ホ(米倉区)の葦茅神社で4月3日、地区に春を迎える祭礼が行われました。この祭礼は「産生さま」ともいわれ、五穀豊穰・家内安全を祈願して神輿を巡行する神事です。

晴天には恵まれなかったものの、担ぎ手たちは、軽快な囃子のリズムと花開き始めた桜の木に囲まれ、地区内を練り歩きました。